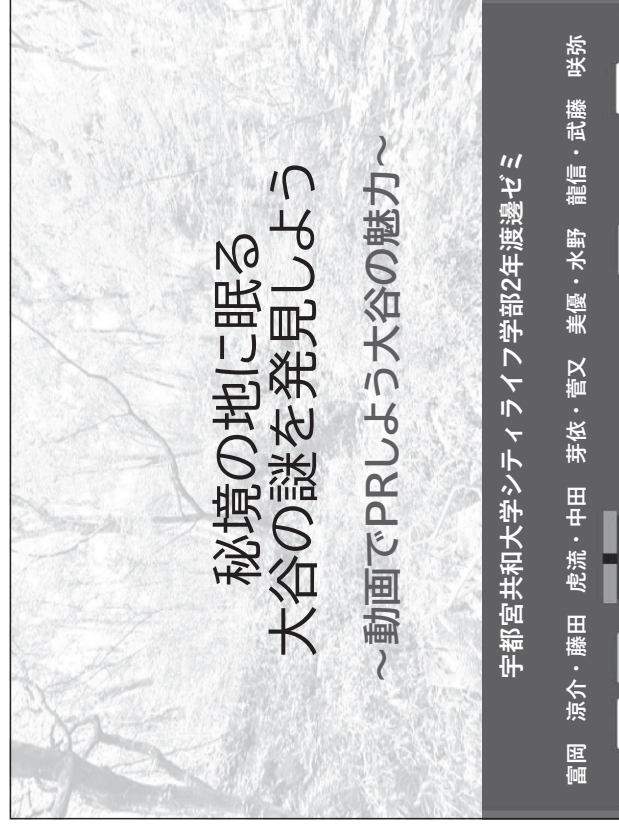
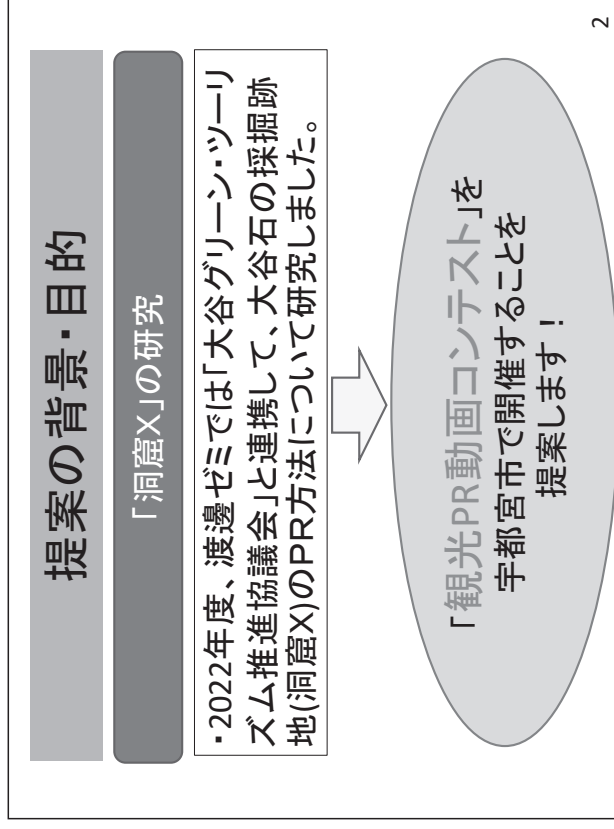


学生提案成果報告(1) ①

<p>秘境の地に眠る大谷の謎を発見しよう ～動画でPRしよう大谷の魅力～</p>
<p>提案団体名：宇都宮共和大学シテイルाइフ学部2年渡邊ゼミ</p>
<p>メンバー：◎富岡 涼介, 藤田 虎流, 武藤 咲弥, 菅又 美優, 水野 龍信, 中田 芽依</p>
<p>指導教員：渡邊 瑛季</p>
<p>審査結果：第3位受賞</p>



<p>【提案の要旨】</p> <p>近年、インターネット上にアップロードされた動画が観光客の訪問のきっかけとして重要な役割を果たしており、動画での情報発信力が観光振興に必要不可欠になっていきます。一般的に観光における動画は来訪者が作成した動画が多く、受入側（観光地側）からの発信が少ない状況です。それゆえ、受入側の想いをうまく伝達できていないことが課題となっています。また、動画の作成の際には、閲覧してほしいターゲットに合うように発信するメディアや動画の内容を決定したりアレンジしたりすることが必要ですが、動画作成に慣れない受入側がこうしたコツを習得することは容易ではありません。</p> <p>私たちは、こうした課題を抱えておられた宇都宮市大谷地区にある大谷石の採掘跡地を活用してツアーを催行している団体と連携し、若者をターゲットとして意識したオリジナルのプロモーション動画を自ら撮影し、作成する活動を展開しました。</p> <p>宇都宮や大谷の観光を動画でさらに発信していくために、観光フォトコンテストと同じように、「観光PR動画コンテスト」を開催することを提案します。これによって、受入側が発信する動画の本数を増やすとともに、動画を観光客の訪問のきっかけとして機能させ、観光のにぎわいを生み出すことが期待できます。</p>



洞窟Xの説明①

約100年前の
大谷石の
採掘跡地！



「洞窟Xツアー」ってなに？

主催者：大谷グリーン・ツーリズム推進協議会

目的：大谷石の採掘の歴史や採掘跡地があることを知ってほしい

(写真：渡邊ゼミ生撮影) 3

現状分析①

①宇都宮市の観光振興プラン ↑ SNSを利用した情報発信に課題

来訪者の情報収集行動を分析することと併せて、SNSの活用や、時代の潮流の変化を捉えターゲットを意識した効果的な情報発信を行っていくなど、情報発信手法を検討していく必要があります。また、文化財や魅力ある資源の活用、組み合わせなどによるプロモーションを展開していく必要があります。

—宇都宮市「第2次宇都宮市観光振興プラン」30ページより引用

②写真・動画を募集する観光PRコンテンツ ・宇都宮観光フォトコンテンツ ・とちぎの農村#フォトコンテンツ ↑ 動画のコンテンツは開催されていない。

5

洞窟Xの説明②

洞窟X内のフォトスポット！



「洞窟Xツアー」の課題は？

①若者の参加が少ない！

②若者への洞窟XツアーのPRが足りない！

↑ 動画を拡散して洞窟Xのことを知ってもらおう！

(写真：渡邊ゼミ生撮影) 4

現状分析②

大谷に関する主な動画

- (1) 数分程度の長めの動画が多い。インスタグラムには観光をPRする動画がほとんどない。
- (2) 石の歴史や採掘方法を解説する動画が多い。
 - ↑ ・より短時間で見どころがわかる動画が少ない。
 - ・若者の動画のニーズに合致していない。

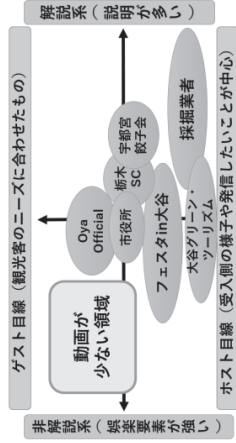


図1 大谷地区に関する地元制作の動画のポジョニング分析 (報告者作成)

6

政策提案

【提案】

- ・宇都宮観光フォトコンテスト内に動画部門を作成。「ショートムービー」制作で発信力のある若者に知ってもらい、拡散してもらう。
- ・コンテストの受賞者は、宇都宮市から動画を表彰いただくことで、行政のお墨付きの動画となる。

【効果】

- ・動画を通して大谷地区の知名度が向上し、若者を中心とした観光客が増える。
- ・地域住民が一体となることで大谷地区に活気が沸き、にぎわいが創出される。

7